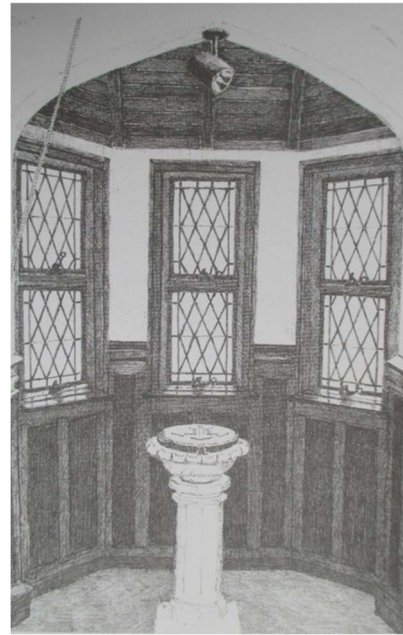
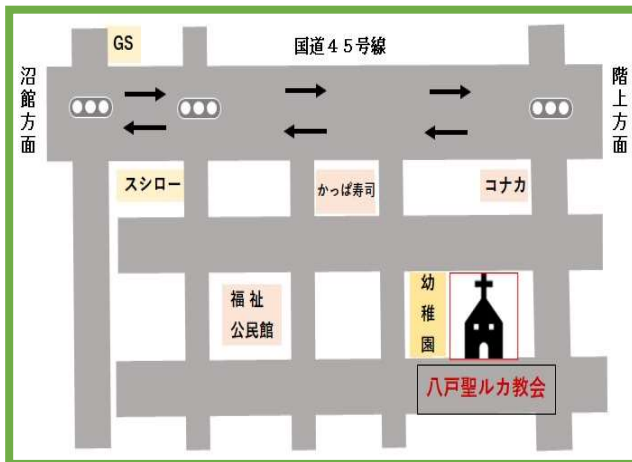


八戸聖ルカ教会のシンボルマーク



描かれている十字架は礼拝堂のもので、十字架上部の左右には福音記者聖ルカのシンボルである「牛の角」、十字架下部の左には救い主キリストを表す「魚」、右には聖霊を表す「鳩」を描き、鳩には八戸の鳥「うみねこ」も重ねている。十字架を包む円は「神の加護」を、また 1934 は番町に礼拝堂が建築された年を表している。
1979（昭和 54）年に制定。山路瑞彦・作

教会案内地図



洗礼盤

八戸聖ルカ教会

〒031 - 0001

青森県八戸市類家 4-9-3

TEL・FAX 0178-44-8098

<https://luke1934.sakura.ne.jp>



教会 HP

管理牧師 司祭 ステパノ 越山哲也

付属幼稚園

聖公会栄光学園 八戸幼稚園

青森県八戸市類家 4-9-3

TEL 0178-22-2224

ボールペン画 石橋暢之



日本聖公会 東北教区

八戸聖ルカ教会



八戸聖ルカ教会は、日本聖公会東北教区（東北6県）にある18教会、2伝道所の一つです。

聖公会は、歴史的には16世紀の英国における宗教改革からはじまった教会で、ローマ・カトリック教会の伝統と宗教改革の精神を併せ持つ教会とされています。そして世界約160ヶ国に広がり、約7千万人の信徒を擁するキリスト教派です。

礼拝・集会のご案内

【礼拝案内】

- ✦ 主日礼拝 第2~5の日曜日 10:30~
原則第1土曜日 10:30~
- ✦ 日曜学校（子どもの礼拝）
第3日曜日 9:00~

【集会案内】

- ✦ オリーブの会（信徒集会）
毎月第2日曜日 礼拝終了後
- ✦ 聖書のつどい
毎月1回 随時

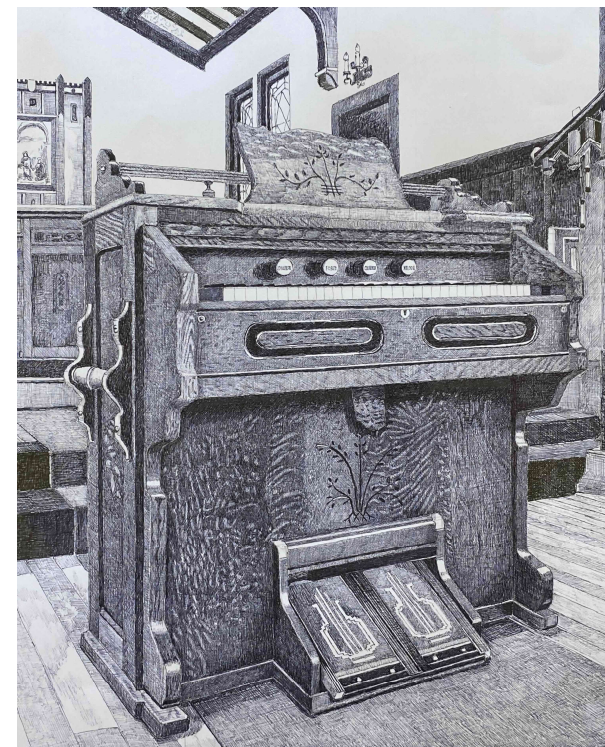


八戸聖ルカ教会の歴史

八戸聖ルカ教会は、地域との深い関わりを大切にして、歩んできました。

- 1896（明治29）年 東北地方第4番目の伝道地として鳥屋部町1番地に「講義所」を開いた。松下一郎氏が伝道師として赴任。
- 1902（明治35）年 八戸で最初の幼児教育始まる。（現・八戸幼稚園）
- 1915（大正4）年 番町13番地に移転
- 1924（大正13）年 八戸大火の被災者救済活動を率先して行う。
- 1934（昭和9）年 木骨赤レンガ造りの礼拝堂が建築され、名称を「八戸聖ルカ教会」とする。
- 1951（昭和26）年 湊日曜学校子羊会開始。後、ぶどうの会として2013年まで継続。
- 1978（昭和53）年 類家4丁目9-3に移転。礼拝堂は木骨赤レンガ造りのまま移築復元、新しく鐘楼が取り付けられた。教会月報「せいじゅ」発行。近隣の各戸に配られた。
- 1989（平成元年）年 八戸市より「第2回まちの景観功労賞」を受賞。
- 2011（平成23）年 東日本大震災発生。被災地釜石へ救援物資を届ける。
- 2016（平成28）年 宣教120周年記念礼拝・祝賀会を行う。教会ホームページ開設。

時代（とき）を紡ぐオルガン



1934（昭和9）年 礼拝堂建築を祝し、亀徳しづから捧げられたリードオルガンが、80年以上経過した今も美しい音色を響かせている。

亀徳しづ 1878(明治11)年~1966(昭和41)年
八戸聖ルカ教会初代伝道師・松下一郎の長女。
東京立教女学院を卒業後、父の手助けをするため八戸に移住。亀徳正栄と結婚し二児の母となる。
1906（明治39）年 番町に助産院開業。
助産師への意識改革、技術の向上を進め、衛生思想の普及を図り、人々に“西洋産婆”と呼ばれ、親しまれた。